

イエスは主なり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 '95 7.1 98



アシュラムの「明け渡し」について

—ピリピ人への手紙2章6節—11節—

淵江 淳一

スタンレー博士はアシュラムを始めるに当たり、自我をキリストに「明け渡す」ことを強調された。ピリピ2章には、イエスが「明け渡し」の故に「主」と呼ばれるに至ったアシュラムの要諦が記されている。＜キリストは神の形であられたが、神と等しくあることを固守せず、かえって、己をむなしうして僕の形をとり人間の姿になられた＞とある。(全2章6節—7節)

イエス・キリストは天来の愛を残りなく私共に注ぎ出すために、神の形である栄光を自ら捨て、僕(奴隷)の形をとり人間の姿になられた。これは神の愛の秘密であり私共の理解を遥かに超えているが、それは十字架と復活によって明らかに開示された。イエスはご自身の血を注ぎ出して、私共の罪の贖いとなられた。私共はこの事実直面し、人間イエスの中に神の本質である聖なる愛を見、ただ恐れかしこみつつ神の御前に立つ。

謙遜と服従と献身とがイエスの生涯の特色であるなら、それはまたクリスチャンのしるしでなければならない。自我の追求や自己顕示は、私共がキリストに似たものとなるのを妨げ、互いの交わりを壊してしまう。しかしイエスの「明け渡し」は、イエスを無限の聖なる栄光へと高め、全世界がイエスを拝跪せざるを得なくした。(全10節—11節)

スタンレー・ジョーンズ博士は、印度の宗教的退修方式に着目して、クリスチャン・アシュラムを創始し、日本にも紹介した。印度の一般アシュラムは、その導師(グル)の指導に絶対的服従をしたが、クリスチャン・アシュラムではイエスが唯一の導師であり、まずイエスに明け渡しをするのが「開心」であり、これなくしては、アシュラムの霊の交わり、天来の愛の交わりはありえない。

オウム教は指導者が絶対服従を強いるのを当然としている。そして自我脱却のために愚かにも薬品を用いて不感無覚の境地を得ようとしているが、古い自我を潔めて、神の国にふさわしい「我」として下さるのは、キリストの十字架以外にはない。私共は十字架のキリストにのみ自分を明け渡すのである。それ故に、個人の名のついたアシュラムには疑問が残る。

＜あらゆる舌が『イエス・キリストは主である』と告白して、栄光を父なる神に帰する＞日が必ず来る。私共はすべてをキリストに明け渡し、主のみ言葉のままに生きよう。

(クリスチャン・アシュラム連盟理事)



スタンレー
ジョーンズ
コーナー

どのように祈るか(9)

□「祈りの梯子の使用」

祈りの梯子の使用について、我々は最後の個条で、心を静めるという踏み段にきました。心を静めることは感受性をつくり出します。そして感受性こそ生命の第一の法則です。それを学べばどう生きるのが分かり、学べなければ生きることには失敗します。

さて、あなたは第五番目の段にそれに着て神と話さないへ上れます。私が「神と話さない」と言っているのは、「神に話さない」ではないことに注目して下さい。何故なら祈りは相互の会話ですから。最も肝要な部分はあなたが神に何を言うかではなく、神があなたに何を言われるかです。それは神はあなたの祈りに答えるだけであることを望まれないからです。神は、その人を通して、いつも祈りに答えることができような人物に、あなたをしたいと思います。欲していただけるからです。それで

の祈りの対話は神の訓練過程の一部なのです。あなたを造り上げるのに、ついには役立つ祈りであれば、神はそれを聞いて下さるでしょう。

あなたがそのことで神と話すとき、その祈りを、あの神の全般的な目的の光の中に置いて、神があなたに期待できる目的の最善の手段となるようにするので。神はより高い「より高い」を言うために「より小さい否定」をされなければならぬかも知れません。他方において、この祈りは、あの神のより高い目的の一部であるでしょう。

▽日本クリスチャン・アシュラム

開始四十年記念特別アシュラム予定

○九州地区9月11日(月)〜12日(火)

西南女学院大学研修所に於て

申込先―北九州市小倉南区守垣四

の三三・岡山敦彦師：8/28まで

○関東地区9月13日(水)〜15日(金)

天城山荘一号館にて

申込先―連盟事務所・大石嗣郎

師：8/31まで

○沖縄地区9月17日(日)〜18日(月)

○関西地区9月22日(金)〜23日(土)

関西学院千刈セミナー・ハウス

申込先―香櫛園教会―古河治

師：9/10まで

※四十年記念行事に集中するため、

六月のセミナーは中止します。

四十年記念事業
特別募金のお願い

E・Sジョーンズ博士により戦後に始められた日本クリスチャン・アシュラムは全国的に開催され、日本の教会の宣教の推進に大いに役立っています。

今年はその四十年に当たり、全国四カ所で、記念特別アシュラムを開催することになりました。これを祝福して国際クリスチャン・アシュラム連盟委員長J・マシューズ博士夫妻が、ご来援下さることを感謝します。就

て左記項目の事業のため、特別献金二〇〇万円を募金いたします。

(1) J・マシューズ博士夫妻の歓迎・招待の費用

(2) 四十年記念出版事業

(3) 各地区集会との連絡事務費

(4) その他の費用

目標が達成できるように是非ご加勢をお願いいたします。

○特別献金振込先

日本クリスチャン・アシュラム連盟

口座番号・東京〇〇一〇一・一四五五八

※四十年記念特別献金と記入のこと

◎16回全国理事会開催報告

五月二二日碑文谷教会に於て。海

老沢理事長外全国の理事十名出席。

記念アシュラム開催及び募金の委員

の依頼に就て決定した。

▼聖ヨハネによる福音書

D・P・タイタス著・海老沢・飯島共訳
価一、二〇〇円 千二四〇円

▼御国を来らせ給え

D・P・タイタス著・植村俊雄訳
価三〇〇円 千七二円

▼インド途上のキリスト

一九八六年一月改定版
E・S・ジョーンズ著新訳者・洵江淳一
価一、五〇〇円 千三六〇円

▼アシュラムの原則と実際

海老沢宣道著一第三版
新書版五二頁三〇〇円 千七三円

発行所 アシュラム連盟事務局
振替口座 〇〇一〇〇一・一四五五八

●新しい歌をもつて
主を讃美しよう

(在米)呉速臨訳編
海老沢宣道校閲

最新アメリカ讚美歌曲集

「イエスは主です」

全六十六曲は一人でも、家庭でも、アシュラムの集会でも活用してほしい霊的喜びの歌ばかり。

A5判一二〇頁価一五〇〇円 千二四〇円・発売元・キリスト新聞社
取次・日本クリスチャン・アシュラム連盟事務所・振替口座〇〇一〇〇一・一四五五八

S・ジョーンズ物語(4)

―祈りと伝道の人―

土山 牧羔

そのようにジョーンズ先生は日本式の宿屋で、こたつに足を突っ込んで、そこで本を読んでいらつしやいました。そして日本料理を喜んで食べられました。列車に乗って、食事時になりました。「食堂カーへ行きませんか」と私はしばしば勧めましたけれども、「いや食堂車は高い。駅弁でいい」と言われました。近ごろのようなごち走じゃなかったです。私が通訳でお供したのは、二十六、七年前です。すから。まずい、冷たい駅弁のご飯です。喜んで召し上がっておられました。

先生の服装にしても、古くさいような服を着ていました。靴下なども、本当に破れたのを、繕ってはいていらつしやいました。そういうスタイルの生活ぶりでした。極度に節約して、そのお金は何に使うかという、伝道のために一円でも多く注ぎこむというお考えだったので。先生は非常に勤勉で時間を惜しんで原稿の修正をしていらつしやいました。ホテルでも、集会和集会の間、集会和食事の間にお昼寝されるのではなくて、原稿を直していらつしやいました。そして先生は「私は病気になるた

時、あるいは著述のために仕事を離れて、それに集中しなければならぬ時以外には、全然休んだ日はない。」と言われ、一週の七日の間、本当に休日というものはなく働かれたのです。(中略)

アシュラムはクリスチャンをキリストの性格をもった、キリストの弟子にふさわしい人間につくることを目的とします。先生の働きは、それに集中していました。先生はサレンダーということを強調されました。明け渡しのことです。それは、つまり降参する、無条件降伏する、イエスの手の中に全く自分を明け渡すことです。キリストの手に陥つたところのキリストの僕(奴隷)になると言うことだったので。そしてキリストに明け渡すということが人生に於て勝利する道であり、クリスチャンとして勝利の生活を送る方法であると教えられました。先生はアシュラムを始められました。先生はアシュラムを絶対化されましたが、アシュラムを絶対化されませんでした。多くの他の運動では、これが唯一最高の運動だという風に主張するものです。この他にクリスチャンとして完成する道はないと多くの運動は申しますが、ジョーンズ先生は、アシュラムは多くの明け渡しのための運動の一つなんだ。だから互いに他を尊敬しなければいけないし、他の人も協力しなければ

ばならないという風に、度量の広い、謙虚なお考えでありました。それで、どんな運動からもアシュラムに参加する人を喜んで受け入れられたのであります。

また先生は、信仰生活に二段階があることを説かれました。第一は未信者から信者になる回心です。第二はクリスチャンになった人が、更に深い、より高い信仰の勝利へと引き上げられることです。ウエスレーは「ほとんどクリスチャン」と言う表現をした人です。「ほとんどクリスチャンになったが少し欠けているところがある」と。

ジョーンズ先生はそう言う言葉は使われなかったが、完全に明け渡し切れなかったクリスチャンがもっている問題、これに就て非常に強い関心をもっておられたのです。「自分は死んだ」と言っている「死んだ真似をするのが上手な犬がいて、本当に死んだようだと言つて褒めると、得意げにしつぽをびくびく動かすという例話のように」、死んだ真似をして時々しつぽを動かす、これが「ほとんどクリスチャン」の現実というものです。「死に切る」と言いますけれども、それは単に言葉だけで死に切るとは、現実にはなかなか難しい。死に切ると言うよりもキリストの手の中で生き切ると言うことを強調する方

が更によい。それが明け渡しです。

◎住所変更 〒一九二

八王子市明神町四二一〇

タックビル四〇一(電話)四二六・四五・二四五八) 松沢信広牧師

平和のための祈り

全地の神にして、人類家族の父よ。我らの唯一の望みであるあなたに向かつて主イエス・キリスト、平和の君のみ名によつて祈ります。世界が破壊と死に向かつて狂気の殺戮をするのをくい止める力があります。我々の愚かさをお赦し下さい。

正義、公正、一致のための我々の力を全人類の間に糾合する間、平和があるように、あなたの聖なる介入をお願いいたします。イエスは主なり! アーメン。(世界クリスチャン・アシュラム連盟)

海老沢宣道の新書

神に就いての黙想

B6判、150頁、価1,300円 送料240円

神との生きた対話・交わりを願いつつ綴られた信仰の随想。老熟した著者が現代の教会に問題提起しつつ語りかけるメッセージ。

発売所 キリスト新聞社

取次 日本クリスチャン・アシュラム連盟

理事長 海老沢宣道
 編集人 大白川 千嗣郎
 発行人 石川 80円
 定価 一部60円

▽第八回バルナバ・アシュラム報告

例年通り五月三日～五日、日野市ラサール研修所で関西アシュラム委員長小島十二牧師を助言者に迎えて開催。

主題「霊の交わりの回復」、静聴聖句□ヨハネ一章一四章。S・ジョーンズ師の教えるコイノニアの復元を学んだ。教職七名、神学生五名、新人も九名参加、霊的な会であった。アシュラム生活の実践を願った。(石神)



お祈り下さい。全国四ヶ所で記念特別アシュラム成功を願って

アシュラム連盟経常会計報告

[1994.6～1995.5]

1995.5.22

収入の部		支出の部	
地区分担金	230,000	会報発行費(91～97)	223,877
賛助献金	61,500	理事・総務会費	108,757
特別献金	220,000	広告費	42,110
前期繰越金	28,242	事務費	31,040
今期不足金	76,042	特別補助金(強化費外)	210,000
収入合計	615,784	支出合計	615,784

＜アシュラムに参加して＞

◆函館市

片山英昭

重い前科をもつ一人の病人の死を開業医としてみとった経験から、自分が真に悔い改めていないから、その人に救い主を紹介できないことを示されていました。昨年九月関東アシュラムに出席のため、立川で一泊、心を静めて、翌朝早目に古里の会場につきました。空き室で祈っている中に、かねて抱いていた重荷が何か軽くなったように思われ、霊的集会に参加する準備ができたよう

でした。会場正面の「イエスは主である」と大書された垂れ幕を見たとき、自分に何か変化が始まるような予感がしました。その夜、連鎖祈禱の部屋で聖書を開き沈黙していると、それ迄の自分の罪の一つ一つが、水面に浮かび上がる汚い泡のように、心に浮かんできました。長い黙想からふと覚めると、胃のあたりが軽くなったようでした。

このとき、行き詰まっていた自分の心に、小さな穴が空いて、古い自分の一部がそこからサラサラと、少しずつ流れ出して行く心地がしました。新しい自分になって行くようでした。

その男の悲惨極まる最後の姿を見て以来、九ヶ月、私が祈り求めてきたことは、主の愛を真に知り、心から悔い改め、主の赦しを受けたいとの祈願でした。

二日目の夜半、静聴と黙禱の中で、自分の求めが、何ともちっほけな、あつてもなくてもよい自分の執着であったように思われ、すべてを知って居られる主の御臨在の中に、自分が融かされているような安心感を覚え、ただうれい平安に包まれました。

退修会が開心、祈りの細胞、助言者のお勧めと進むにつれ、小さな自

分の中で膨らんで行く、あの厚味のある臨在感は、これこそ主にある霊の交わりであろうと痛感しました。そして臨在の主の祝福の中にあつて、心から「イエスはすべての主である」と讚美いたしました。感謝。
一九九四・九

◎日本クリスチャン・アシュラム東北地区委員長に日本基督教団浪江教会(福島県) 吉田傳吉師が選ばれた。

アシュラムの五大原則

- (一) キリストへの明け渡し
- (二) 御言への静聴と立証
- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五) 神の国の体験と献身

アシュラム生活最良の友
アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物
価250円、〒90円、年2,040円(〒共)

申込先 ☎256 小田原市国府津3-11
振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム
電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来44年続行中